

Yaphidu (1976-)

ヤフィドゥ

叔父Charindaら親族のアーティスト達に影響を受け、活動開始。美しい色合いと繊細なタッチ、独自の不思議な動物ワールドを展開する。大型動物と小さな脇役の優しいストーリー、長老Amonde(1940-2015)の作風を受け継ぐ、唯一のアーティスト。「民話集 しあわせのなる木」(2017)挿絵を描き上げる。

来日歴 2017、2018、2019、2020

「サイ〜アフリカの鳥とちょうちょ
〜長老アモンデスタイル」



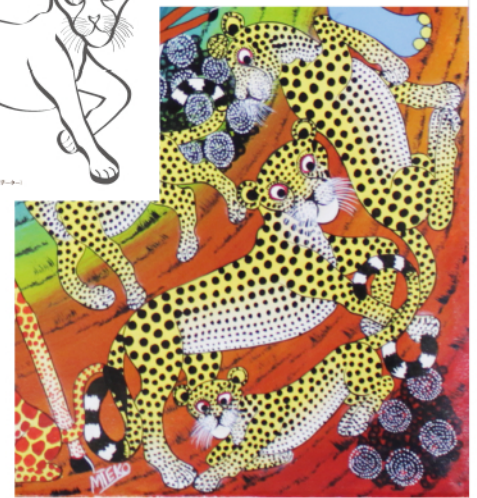
Mteko (1982-)

ムテコ

J.Aussiの元で修行、動物の毛並みから、皮膚のひだ、尻尾の先まで描き分ける技法などを学び、以来頭角を現す。躍動感溢れる動物画が魅力。雄大な大自然のパワーを感じさせてくれる、丸い地球の大地を見立てて描いた「地球へのオマージュ」は、ムテコ氏の代表作。

来日歴 2015、2016、2017、2018

TINGA TINGA ART DUMA



「地球へのオマージュ《憧憬》〜部分〜」



TINGA TINGA ART PUNDA MILIA



Zuberi (1973-)

ズベリ

家が貧しく、教育を受けないまま青年期に入り、ティンガティンガ村にて、絵の修行をしながら、学校に通った。鋭い目の動物が、花や鳥に囲まれた独特の構図は、個性派揃いのティンガティンガ村の中でも、異彩を放っている。

来日歴 2019

「シマウマの親子とアフリカの鳥」

